

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年9月1日発行

— 2016.8.22～ 2016.8.28 — 第34週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第31週	第32週	第33週	第34週
水痘	2 0.40		4 0.80		1 0.33	2 0.40		9 0.33	18 0.31	1,030				
流行性耳下腺炎	7 1.40	3 0.30			1 0.33		1 0.50	3 0.11	15 0.25	777				
百日咳	1 0.2							1 0.04	2 0.03	19				
感染性胃腸炎	25 5.00	17 1.70	19 3.80	13 6.50	10 3.33	5 1.00		68 2.52	157 2.66	11,581	◎	◎	◎	◎
手足口病	9 1.80	26 2.60	5 1.00	6 3.00	3 1.00	12 2.40	7 3.50	60 2.22	128 2.17	749	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑					4 1.33			2 0.07	6 0.10	300				
突発性発しん		6 0.60	6 1.20		2 0.67	4 0.80	1 0.50	13 0.48	32 0.54	1,095	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	37 7.40	31 3.10	40 8.00	40 20.00	17 5.67	48 9.60	6 3.00	152 5.63	371 6.29	1,984	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	1 0.13								1 0.01	28,057				
咽頭結膜熱	1 0.20	3 0.30				1 0.20		3 0.11	8 0.14	654				
流行性角結膜炎		2 0.67						1 0.17	3 0.25	86				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10 2.00	12 1.20	2 0.40			41 8.20		27 1.00	92 1.56	7,219	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	8				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎	1 1.00		1 1.00	3 3.00	1 1.00			3 0.60	9 0.75	252				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	13 2.60		1 0.20			1 0.20		30 1.11	45 0.76	386				○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	14				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	2	2				2	11					
	川崎病													
	不明発疹症								6					

◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意
○：発生または流行について、今後の情報に留意
△：発生が少なくなっている傾向

2. 全数報告疾病

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核

石巻管内 女性1名(第32週)、女性1名

塩釜管内 男性1名

大崎管内 男性2名、女性2名

仙台管内 男性2名、女性3名

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症(O157)

仙台管内 男性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O26)

仙台管内 男性1名、女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O103)

登米管内 男性1名、女性2名

4類感染症：A型肝炎

大崎管内 男性1名

5類感染症：ウイルス性肝炎

仙台管内 男性1名

カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*E.aerogenes*)

仙台管内 男性1名

侵襲性肺炎球菌感染症

仙台管内 男性1名

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 女性1名(第33週)

梅毒

仙台管内 男性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

〔ヘルパンギーナ〕

仙南・塩釜・大崎・栗原・登米・仙台管内で警報継続中

石巻管内で警報値を超えた

〔手足口病〕

気仙沼管内で警報継続中

〔A群溶血性レンサ球菌咽頭炎〕

石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

登米管内のO103関連 第34週採取分 O103 3件

手足口病患者より

気仙沼管内 第33週採取分 コクサッキーウイルスA16 2件

コクサッキーウイルスA6 1件

ライノウイルス 1件

ヘルパンギーナ患者より

栗原管内 第33週採取分 コクサッキーウイルスA10 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第31週採取分 (8.1～8.7)	第32週採取分 (8.8～8.14)	第33週採取分 (8.15～8.21)
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	0件	1件

4. 今週のコメント

【ヘルパンギーナ】

7月から患者報告数の多い傾向が続き、減少傾向を示していましたが、今週再び増加し、石巻管内も警報値を超えるなど県内のほぼ全域で流行している状況です。エンテロウイルスやコクサッキーウイルスの感染により発症し、発熱(38℃以上)と咽頭炎、口の中にできる水ぼうがが主な症状となります。保健環境センターでも患者よりコクサッキーウイルスA10型が検出されています。今後も流行状況は継続すると考えられます。ウイルスの感染は主に患者の咳やくしゃみを吸い込んだりすることによりですが、便中にも排出され、このウイルスが口に入るなどして感染するケースもあります。ウイルスは急性期に多く排出されますが、症状が治まった後でも2～4週間程度排出されるとの報告もあり、便を取扱う際には手洗いを徹底するなど、感染予防に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/hokans-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

